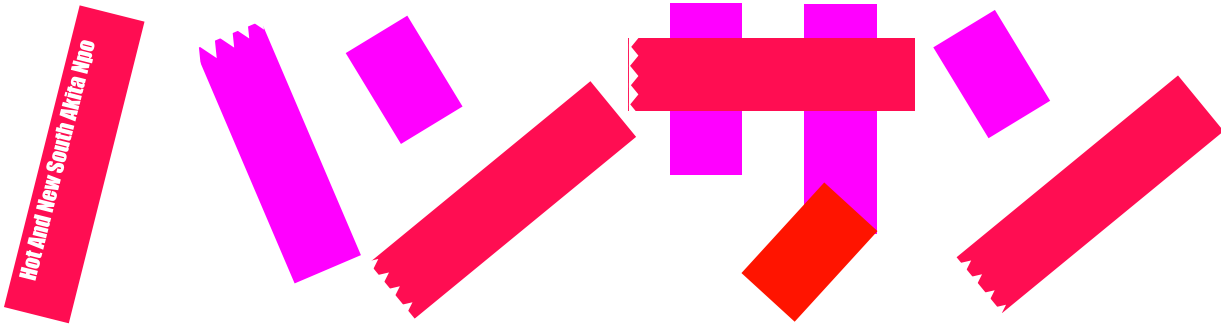


県南のNPOを情報でつなぐ、ささえる。

平成 28 年 3 月 10 日発行
秋田県ボランティア・NPO活動
ニュース県南版



3

March
2016
Vol.110

P4~P5 市民活動お役立ち情報

クラウドファンディングを 知ろう

P2~3

取材団体からのメッセージ

P6 今さら聞けないパソコン操作と用語

~計算編~

今月の表紙

編集スタッフのつぶやき

今月の表紙「よこて認知症を見守る市民ネットワーク」

行動実験の様子

あべ
いな
秋田県



取材にご協力頂いた団体からの

メッセージ

～取材を受けて感じたこと、 活かしたことを伺いました～

よこて和生(なな)の会

小池田和子さん

5月号
表紙

「支え合おう心といのち」

和生の会の立上げ直後だったので、地域デビューが初めてできたようで嬉しかったです。活動に向けたメンバー各自の意識が高まり、自分たちの目標に向かって、心一つに仲間としての団結力が高まるキッカケになったと思います。

「ハンサン」はコーヒーサロン「和生」のPRに使わせてもらいました。サロンの周知への広がりにつながると感じております。地域のみなさんを大切に、健康な心といのちのサポーターとして愛されるよう成長してゆきたいと考えています。

今年度、情報誌『ハンサン』に掲載した団体へ、取材を通じてみなさまが感じられたこと、現在の活動との関わり方などを伺いました。編集部もこれを次年度への励みとし、より役立つ情報発信、活用をしていきます。ご協力ありがとうございました。

羽後こころの和の会

佐藤はま子さん

7月号
わくわくげんき

「横手高校定時制生徒が行く」

お客様に掲載記事をコピーして配りました。メンバーさんは活力を頂きました。「ボランティアは無理せず自分の時間がある時、気軽に参加」のスローガンにあらためて、再認識することができました。メンバーさんがなかなかそろわず苦戦しています。「ハンサン」のおかげで話題になりますので、何かの役に立っている様な気分になっています。

「わくわくげんき」の記者のみなさんは、肩に力を入れずかけるようになっていたり、時間の流れに力があるのを感じています。

APP(あっぷ)

藤岡誠人さん

8月号
わくわくげんき

「横手高校定時制生徒が行く」

取材を受けたことで、事業実施へのメンバーのモチベーションを高めることができました。客観的に評価を頂き、それを外部からの視点でメンバーに伝えることができました。子どもたちも紹介され、大きな自信になりました。これからも団体PRの際に「ハンサン」の記事を、積極的に使用させて頂きます。

ぜひ、当団体のような小さな団体にも同じように声をかけて頂ければ、大変喜ばれると思います。

ゆざわ

ジオパークガイドの会

阿部哲矢さん

9月号
わくわくげんき

「横手高校定時制生徒が行く」

今回の取材だけでなく、ガイドするたびに、取材対応やガイドの難しさを感じています。ただ、その難しさをバネにして、ガイド力等がアップするよう努めることができる点が自らの変化だろうと思います。

高校生が現場に出て、実務者からの声を聞くシステムに好感が持てました。取材に来てくれた高校生のみなさんに、実際にガイドを体験してもらおうと、また違った感想を持ってもらうことができたかと思っています。

**横手市子育て支援
コーディネーター
奥山ひとみさん**

9月号
5年後の秋田を考える
若い世代の結婚・出
産・子育ての希望をか
なえる「少子化対策」

子育てを取り巻く現状について、日頃の活動から見える社会問題について書かせていただきました。記事にするということで、より地域や子育て支援への思いも深まり、再認識するいい機会となりました。現状を客観的にとらえることで、より広い視野で先を見据えた活動を心がけていこうという自分なりの志気が高まりました。

「ハンサン」は、さまざまな分野の幅広い世代の方に見ていただける内容だと思うので、子育て、高齢、介護などピンポイントで連携した情報発信ができると、より効果的だと思います。「わくわくげんき」のコーナーいいですね！次世代の方も関わることで、読んでいただけるので、続けてほしいです。

**パパ'S サークル横手
ピーターパン
長谷川聖史さん**

12月号
わくわくげんき
「横手高校定時制生徒が行く」

取材を通じて、横手高校定時制の先生とのつながりが生まれ、パパサークル横手ピーターパンとして今年一年目のイベントが2月上旬に行われましたが、その際、先生を通じて生徒さんにボランティアとして参加頂くことができ、イベントの中で多大なご協力を頂き本当に助かりました。サークルのイベントはまだまだ始まったばかりであり、今後ともご協力を頂けたら幸いに思います。

**蔵っカーズ
川崎達彦さん**

10月号
わくわくげんき
「横手高校定時制生徒が行く」

自分たちの活動を振り返るキッカケを頂いたので感謝しております。高校生と取材、記事制作していらっしゃるの素晴らしいと思います。

蔵っカーズも活動初期から増田町の学生と関わってきました。蔵っカーズには決まった活動や目的がないので、今後は地元の若者と地域を繋ぐ橋渡しのような役割を、蔵っカーズが担っていけたら、そういう目的を活動の芯に置けたらよいのかなと思いました。

**NPO 法人
大曲花火倶楽部
伊岡森洵さん**

12月号
活動ウォッチング
「大曲の花火をイベン
トから文化に！」

取材を受けることで、会の目的などに立ち返り、目指すべき活動の方向性を再認識することができました。「ハンサン」の掲載記事を、会の内部で回覧しました。特別な反応は、ありませんでした。

市民活動における制度・事務的なことも含め会の運営のノウハウについて、今後とも掲載して頂きたいです。

**横手高校定時制教諭
和田彰さん**

わくわくげんき
「横手高校定時制生徒が行く」

生徒たちは取材に行くことを楽しみしておりました。取材することで人間関係が広がることにも関心を持つようになっていきます。親や学校の先生方以外の大人に接することができ、勉強になったように思います。NPOの活動を通して、進路を実現することができ、本当に貴重な体験となったようでした。

THEME

クラウドファンディングを知ろう

市民活動としていろいろな企画を考えると、運営していくには資金が必要です。必要な資金をどう集めるかで困っていませんか？この問題を解決する方法として、クラウドファンディングが話題になってきました。そこで、今回はクラウドファンディングについて情報を得てみましょう。

(熊谷淳子)

■ クラウドファンディングとは

クラウドファンディングとは、群衆（crowd）と資金調達（funding）を組み合わせた造語で、事業を企画、もしくはアイデアの実現などの「ある目的」のために、インターネットを通じて不特定多数の一般人から資金の出資や協力を募ることをいいます。

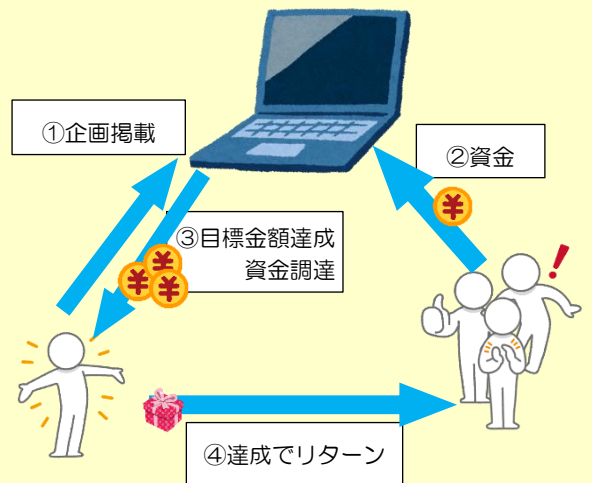
- ・なぜその企画をやるのか
- ・どんな企画をやりたいのか
- ・どのように進めていくか
- ・資金はいくら必要なのか

という情報を企画としてクラウドファンディングサービス上に掲載し、小口資金（支援金）を募集します。出資した人（支援者）に対して、企画者の方から見返り（リターン品）がある場合は、そのことも掲載します。

一定期間の間、企画に共感した複数の支援者が少しずつ資金を提供し、目的の資金が集まった時点で企画が成立し、企画の起案者は、集まった資金を元に企画を実行します。

■ クラウドファンディングの種類

クラウドファンディングは、一般的には支援者に対するリターンによって3つの種類に分類されます。



クラウドファンディングの種類

タイプ	内容
購入型	金銭以外の物品や権利を受け取る
寄付型	リターンなし
金融型	金銭的なリターンを伴う

※金融商品取引法の規制などの関係上、購入型が最も普及

支援する方は、インターネット上で、支援する企画内容を検討しますが、その時の決定事項の一つになる可能性があります。

企画提案する方は、このクラウドファンディングの種類に応じて、目標金額を設定していきます。購入型の場合は目標達成の際に、リターン品として物を用意します。このことから、目標達成金額は、事業費＋リターン品＋リターン品の郵送料＋手数料（達成時のみ）の合計額を元に決めます。

■ クラウドファンディングのメリット

企画発案者、そして支援者双方にとってメリットがあります。

企画発案者のメリット

市民活動のアイデアがあり、運営する団体の力もあるが、資金がないことで活動できない事態を、クラウドファンディングを利用することで、資金を集めることができるのが一番のメリットです。

また、活動内容を公表することにより、支援者との交流も行え、周囲の要望やニーズを活動の開始前から得

られることも最大のメリットでしょう。

支援者のメリット

掲載されている事業企画は、企画者の想いが分かるので、支援者自身も活動に関わる一員となることができます。また少額から気軽に寄付や出資ができるという点があり、その金額に見合ったリターンを得られることが大きなメリットとなります。

クラウドファンディングサービスを選択するには

どのクラウドファンディングサービスを利用するかは、それぞれの特徴を考慮して選択します。

サービスを展開している2社に、特徴をお聞きしました。「FAN AKITA」の場合、秋田に関わることを応援するため、マイナーなスポーツや福祉系も取り上げ、さきがけ新報の記事や広告スペースに掲載されるので、宣伝効果があると担当の田口清洋さん。「FAAVO横手」椿谷仁志さんは、NPOの目線で他地域と横手を結んでいくことが特徴ですと話してくれました。事業内容と

のマッチングは大切です。

プロジェクト（企画）を始める方の流れ

「FAN AKITA」の場合をご紹介します。



「FAAVO横手」と同じく、ホームページからの申込みが基本ですが、どちらにも実際に会って企画内容を相談して頂けるそうです。

審査は、複数の人数で内容の検

討を行います。企画内容を仕上げるまで日数が足りない、社会性がない事業の場合などは掲載されにくく、話題性のある企画事業に関しては、掲載されやすいそうです。

資金募集期間は、短いと達成率が低く、また長いと最初と最後は集まるが中だるみが発生することもありよく検討した方がよいでしょう。

資金回収は、現在クレジット決済のみですが、今後コンビニや銀行での現金入金方法も検討されているとのこと。目標達成金額が成功した場合には、集まった支援総額の2割が手数料として差し引かれ、残りの8割が支払われます。

目標金額を達成するには

クラウドファンディングの企画のタイプは一般的に、「これから始めたい」、「商品を作りたい」、「活動する場所を作りたい」などに分かれます。今掲載しようとするものを、きちんと把握しつつ、ニーズに合っているのかを検討しましょう。

リターン品の代金は、支援金の5割程度として考える方が多く、魅力のある品は支援者が増えるように

した。

また、SNSを大いに利用して、達成状況なども個人的に発信することは得策です。

プロジェクト（企画）を支援する方の流れ

クラウドファンディングサービスにおいて、関心のある企画を探します。支援したい事業企画の紹介動画やコミュニケーションページで、詳しい事業内容を見えます。

次に、支援する金額を選択します。クラウドファンディングの種類によっては、目標金額達成で支援金額により、リターン品を受け取ることができます。支援者になるとコミュニケーションページに投稿することができるようになります。達成しない場合は、返金されます。

2月27日開催
 セミナー講師
 「FAN AKITA」
 秋田魁新報社
 田口清洋さん
 「FAAVO横手」
 NPO 法人 Yokotter
 椿谷仁志さんより
 情報提供頂きました。

今さら聞けないパソコン操作と用語

～計算編～

今回は、Excelでの計算操作の方法を確認してみましょう。Wordでも計算ができるのですが、非常に覚えにくいのでいろいろな講習会等では紹介されていません。計算は計算機が一番だという方々も多いです。Excelで計算することのいい点は、ミス入力した場合にその部分のみ、修正するだけでもう一度再計算してくれるところです。難しいのでは？という声がありますが、便利ですので挑戦してみましょう。(熊谷淳子)

[1] 四則計算編

① 計算結果を表示するセルをクリックし、最初に等号(=)を入力します。『これから計算(関数)式を入力する』という合図です。

	A	B	C	D
1	商品名	単価	数量	金額
2	名札	100	1	=
3	鉛筆	80	5	
4	消しゴム	50	1	
5				

② 「金額」は「単価」×「数量」で求めるため、「単価」のセルのB2番地をクリックします。

	A	B	C	D
1	商品名	単価	数量	金額
2	名札	100	1	=B2
3	鉛筆	80	5	
4	消しゴム	50	1	
5				

③ 足し算・引き算・掛け算・割り算という四則演算を右の一覧の記号を半角入力して使用します。今回「かける」ので「*」を入力します。

足し算	+
引き算	-
掛け算	*
割り算	/

④ 「数量」のセルのC2番地をクリックします。

	A	B	C	D
1	商品名	単価	数量	金額
2	名札	100	1	=B2*C2
3	鉛筆	80	5	
4	消しゴム	50	1	
5				

⑤ Enterキーを押します。セルD2番地に答えが表示されます。

	A	B	C	D
1	商品名	単価	数量	金額
2	名札	100	1	1200
3	鉛筆	80	5	
4	消し			
5				

⑥ セルD2番地をクリックすると、数式バーに『=B2*C2』が表示されます。これは、『B2番地の数字とC2番地の数字を掛け算します』ということの表示です。

[2] オートSUM編

合計を求める場合、「+」を使用して足し算式を作ってしまうが、足すセル数が多い場合は、便利な「オートSUM(サム)」を使用できます。

① 合計の結果を表示するセルF2番地をクリックします。

	A	B	C	D	E	F
1	日	団体	人数			参加者数
2	2月3日	Aの会	6		合計	
3	2月4日	PC学習会	10		平均	
4	2月5日	横手友の会	4		最大	
5	2月6日	ミニミニ講習会	2		最小	
6	2月7日	Bの会	8			

② 「ホーム」→「編集」→「オートSUM」をクリックします。

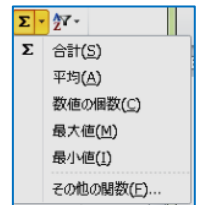
③ セルF2番地に「=SUM(C2:E2)」が表示されますが、計算したい場所を指定しなおします。セルF2番地に「=SUM(C2:C6)」が表示されたら、Enterキーを押します。

	A	B	C	D	E	F	G
1	日	団体	人数			参加者数	
2	2月3日	Aの会	6		合計	=SUM(C2:C6)	
3	2月4日	PC学習会	10		平均	SUM(数値1, [数値2], ...)	
4	2月5日	横手友の会	4		最大		
5	2月6日	ミニミニ講習会	2		最小		
6	2月7日	Bの会	8				

④ 合計値が求まります。

※「オートSUM」を使用して、合計値以外の「平均」や「最大値」を求めることも出来ます。

「オートSUM」ボタン横の▼をクリックすると、右のようなメニューが表示されるので、目的に合った項目をクリックします。



ポイント!

計算結果を表示されるところに、計算式を入れる! 手入力では「=」を忘れずに!

秋田県ボランティア・NPO活動ニュース県南版

ハンサン

2016年3月10日発行
3月号 VOL.110

発行: 秋田県企画振興部地域活力創造課

〒010-8570 秋田市山王四丁目1-1 TEL.018-860-1245

編集: 特定非営利活動法人秋田県南 NPO センター (南部市民活動サポートセンター)

〒013-0046 横手市神明町1-9

TEL.0182-33-7002 FAX.0182-33-7038

南部市民活動サポートセンター

【相談受付】月・火・水・金 9:00~18:00 土 9:00~17:00

【休館日】木曜日・年末年始(12/29~1/3)

〒013-0046 横手市神明町1-9

TEL.0182-33-7002 FAX.0182-33-7038

E-mail: ssc7002@luck.ocn.ne.jp

http://www.akita-kenmin.jp/hg030001



今月の表紙

認知症高齢者の行方不明者を迅速に捜し出すためのしくみ「よこて認知症を見守る市民ネットワーク」の行動実験が、2月21日横手市幸町・古川町内会で実施されました。実験の結果、さまざまな意見や課題、改善点を確認しました。

編集スタッフのVOL.10 つぶやき

サポートセンター長
高城恵子

今年度も次世代を担う高校生に、地域で意志を持って多様な活動を展開しているNPOについて、取材を通して理解を深めたものを記事にしてみました。団体と高校生の双方からよい出会いだったとの意見をいただき、今後も継続していきます。「ハンサン」は「県南のNPOを情報でつなぐ、ささえる」を目標に発行してきました。これからも市民活動団体の皆様にとって必要な情報をお届けできるようがんばります。